

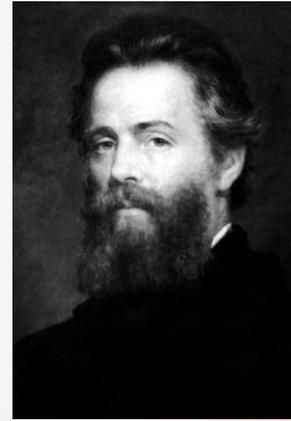
平成 30 年 11 月

# 平成30年度 秋季英文学会講演会開催 (ご案内)

武庫川女子大学英文学会

本年度秋季講演会は、関西学院大学 橋本 安央先生をお招きして、「『バケモノの子』、『白鯨』、そして、文学」というテーマでお話していただきます。多数のご来場をお待ちしております。なお、講演会終了後、先生にご臨席いただき懇親会を予定しておりますので是非ご参加ください。

## 【講演会】



日時：平成 30 年 12 月 14 日(金) 16:30~18:00

会場：南館 S-24 教室

講師：関西学院大学 文学部教授 橋本 安央先生

演題：『バケモノの子』、『白鯨』、そして、文学

<内容> 2015 年夏に全国で公開された、アニメーション映画『バケモノの子』(細田守監督)を観たことがある方は、わりにいるのではないかと思います。人間界(渋谷)に生きる少年(蓮/九太)と、バケモノ界(渋谷)に生きる暴れん坊のバケモノ(熊徹)の人生が交わり、擬似的父子関係が描かれたこの作品は、SF ジャンルが得意とする、いわゆるパラレル・ワールドもの(ある時空から分岐して、それに並行して存在する、別の時空世界を描いたもの)のひとつです。それだけにとどまらず、実のところこの映画は、アメリカ文学史上、最高傑作の誉れ高き、ハーマン・メルヴィル(Herman Melville)による『白鯨』(Moby-Dick, 1851 年)を下敷きにしています。白いクジラを追跡する、奇妙で奇抜なこの長篇小説と映画を共振させながら、『白鯨』という壮大な小説世界の底知れぬ不可思議を、追いかけてみたいと思います。

<主要業績> 主な著訳書として、『痕跡と祈り メルヴィルの小説世界』(松柏社)、『高橋和巳 葉子の風景』(試論社)、『白鯨 シリーズ もっと知りたい名作の世界 11』(共著、ミネルヴァ書房)、ジャメイカ・キンケイド『弟よ、愛しき人よ——メモワール』(松柏社)、『しみじみ読むアメリカ文学』(共訳、松柏社)など。

## 【懇親会】

日時：平成 30 年 12 月 14 日(金) 18:15~19:30

会場：日下記念マルチメディア館 3 階 カフェ